

気をつけよう！感染症（令和6年第3号）

令和6年9月4日発行
松本市保健所保健予防課

「結核」を正しく知って予防と早期発見に努めましょう
～9月24日から9月30日は結核・呼吸器感染症予防週間です～

結核は、今でも国内で年間10,000人以上の新しい患者が発生し、1,600人以上が命を落としている日本の主要な感染症です。

【感染経路】

- ・結核は結核菌によって引き起こされる感染症です。
- ・肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」と一緒に結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで人から人にうつります（空気感染）。
- ・感染してもすべての人が発病するわけではありません。ただし、感染から長い期間を経て、高齢となって発病することもあります。

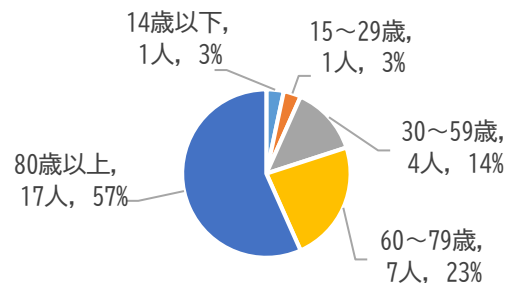
【症状】

- ・長引く咳や痰、その他に微熱・だるさ・食欲不振など風邪のような症状があります（ただし、高齢者は症状が出にくいことがあります）。

【松本市の状況】

- ・松本市居住者では、昨年17件の発生があり、今年もすでに13件発生しています。
- ・年代別でみると80歳以上の割合が一番高く、全体の57%を占めています。

活動性結核患者（2021年～2023年）



※活動性結核とは
「結核のため治療を必要とする状態」です。

【結核の予防・早期発見のためにできること】

① 健康づくり

バランスのとれた食事、十分な睡眠、適度な運動をして、免疫力を高めましょう。結核に感染しても発病を抑えることができます。

② 胸部レントゲン検査

65歳以上の方は「感染症法」で1年に1回の結核健康診断（胸部レントゲン検査）が義務付けられています。異常が見つかったら必ず精密検査も受けましょう。

③ 早期受診

咳や痰が2週間以上続く場合は、必ず受診してください。結核は治療法が確立しているので、早期に発見できれば治る感染症です。

結核予防週間から
「結核・呼吸器感染症予防週間」へ

今年から結核予防週間の対象を呼吸器感染症へ広げることになりました。次のパンデミックに備えて、呼吸器感染症への関心を持ち続けましょう。

